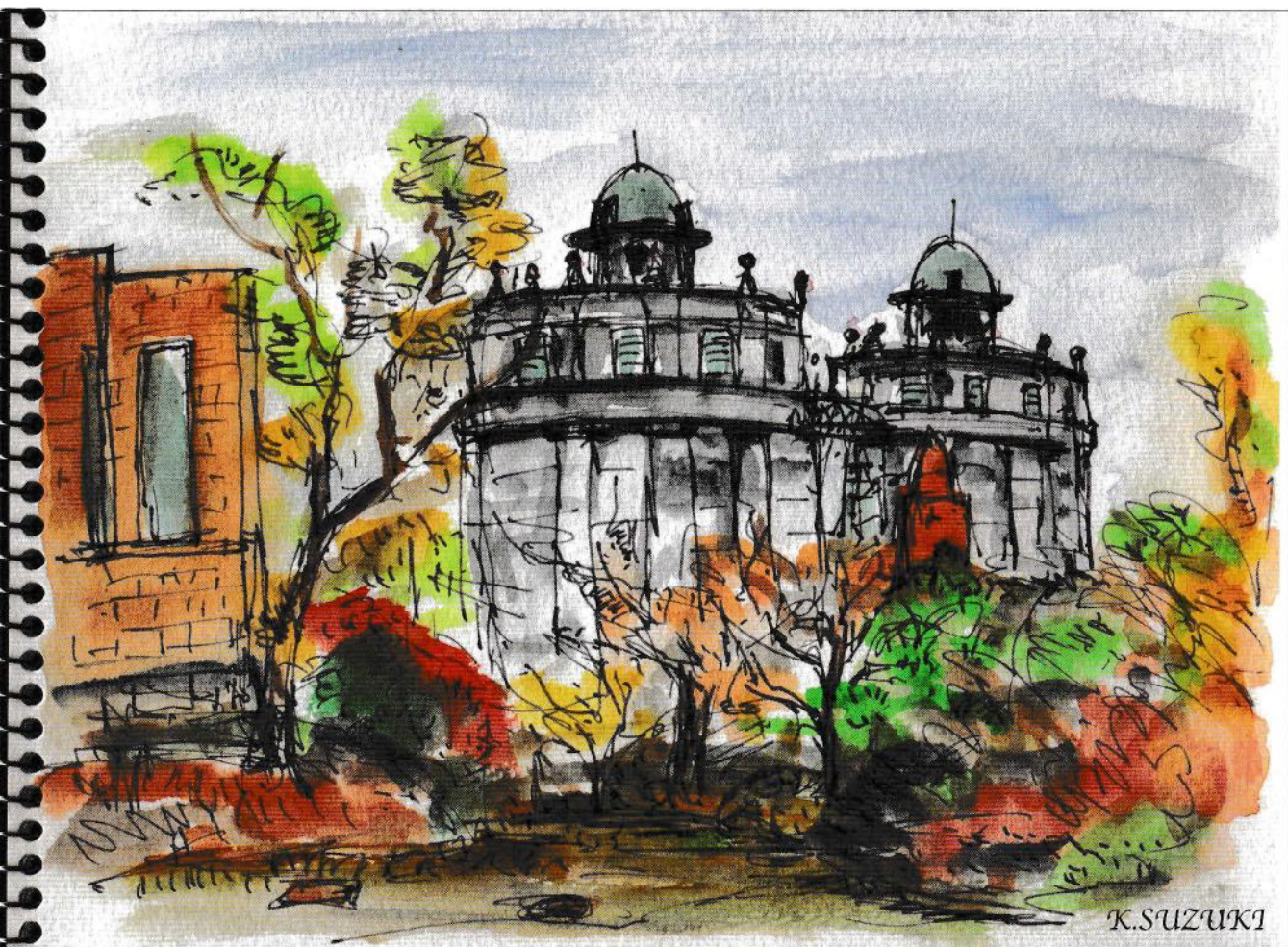


駒沢給水塔



近代化遺産として評価の高い駒沢給水塔を周囲の風景を含めて保存していくことを目的として保存会はスタートしたが、調査研究を進めているうちに、現在では駒沢給水塔を渋谷町水道という産業土木遺産の中核として捉え、東京水道近代化の最も重要な歴史遺産であるとの認識で、給水塔という点から渋谷町水道という線へ活動目的を広げて活動している。

駒沢給水塔風景資産保存会

駒沢給水塔の歴史年表

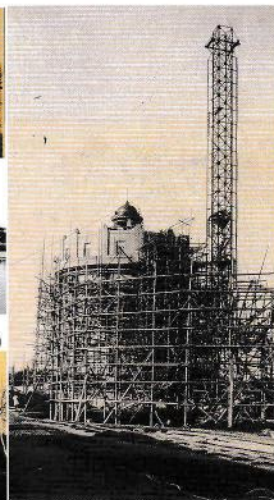
渋谷町が水道施設の実行計画立案	1917	大正 6
10月 水源を多摩川に決定		
施設関係の实地測量が完了	1919	大正 8
上水敷設認可 (総工費予算 496 万円)	1920	大正 9
多摩川河畔浄水場敷地で渋谷町上水道起工式	1921	大正 10
3月 駒沢給水所 第2号塔完成	1923	大正 12
9月 関東大震災		
11月 第1号塔完成/両塔をトラス橋で連結		
全工事完了/3月 駒沢給水所で竣工式	1924	大正 13
3月 上水道敷設記念碑 建立	1927	昭和 2
渋谷町が渋谷区に、町営水道部も東京市水道局に	1932	昭和 7
第一ポンプ所と配水池を新設	1933	昭和 8
2.26 事件	1936	昭和 11
12月 太平洋戦争に突入	1941	昭和 16
東京府が東京都に	1943	昭和 18
8月 第二次世界大戦終結	1945	昭和 20
9月 サンフランシスコ平和条約調印	1951	昭和 26
駒沢給水所構内に第二ポンプ所を建造	1965	昭和 40
5月 沖縄返還	1971	昭和 46
駒沢給水塔第一ポンプ所の運転停止	1989	平成 1
1月 関西・淡路大震災	1995	平成 7
駒沢給水所第二ポンプも停止	1999	平成 11
同時に給水所機能停止		
9月 「駒沢給水塔風景資産保存会」発足	2002	平成 14
12月 世田谷区の第一回地域風景資産に選定		
12月 コマQ主催の最初の構内見学会 開催		
敷設記念碑、給水塔照明等の大修復	2003	平成 15
給水塔屋に約 70 年ぶりの点灯		
世田谷区長から文化財保護の尽力に団体表彰	2007	平成 19
世田谷区の第二地域風景資産に砧浄水所が選定	2008	平成 20
3月 東日本大震災	2011	平成 22
社団法人土木学会の「選奨土木遺産」に認定される	2012	平成 24



上) 浄水場建設現場 下) 建設後の浄水場 (現在は水がありません)



建設当初の駒沢



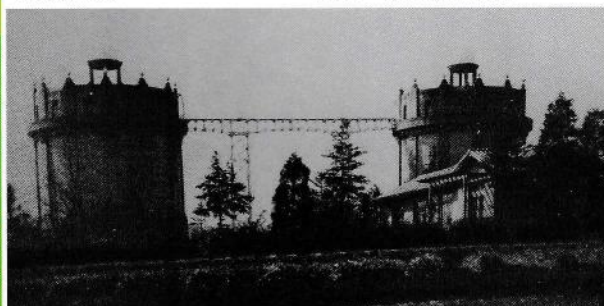
建設中の2号塔



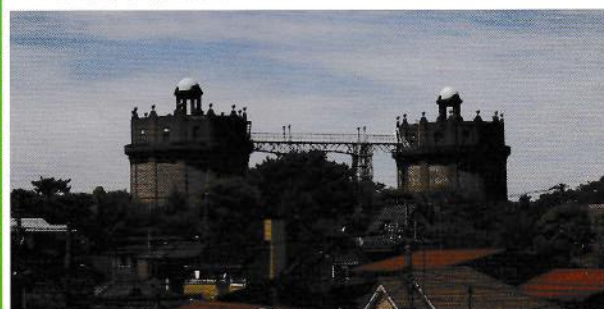
塔上の装飾球



1927年 上水道敷設記念碑



1924年 建設当時の駒沢給水塔



現在の駒沢給水塔 (周囲の家が当初と比べて増えている)

駒沢給水塔ミニ知識

給水塔 1 基はおよそ 3,800 トンのコンクリート 160 トンの鉄を使ってつくられた。

駒沢給水塔ミニ知識

渋谷町から委嘱され、この給水塔を作ったのは日本水道の父とも言える中島鋭治博士だ。

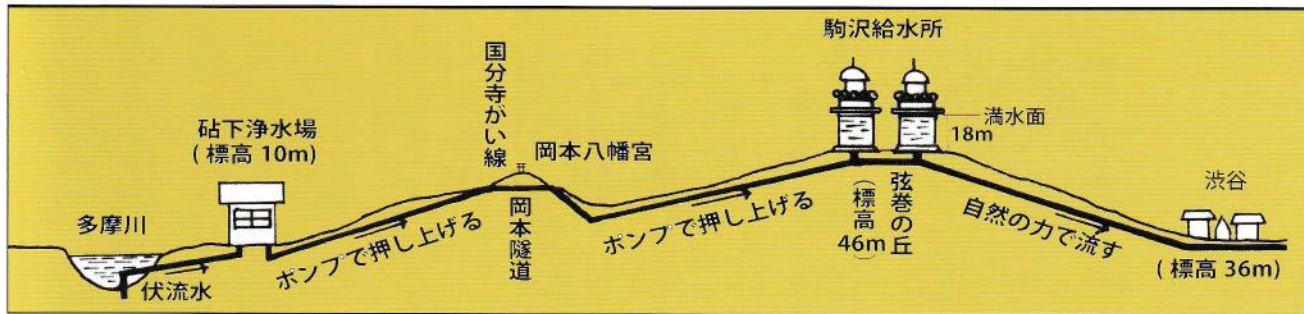
駒沢給水塔ミニ知識

給水塔の高さは約 30m、直径は約 15m
1 基当りの貯水量は、2 l ボトルで 1,385,000 本

駒沢給水塔ミニ知識

給水所の敷地の地下には大きな水槽があり
常時約 4,250,000 l の水が貯められている。

多摩川・砦から渋谷への水の道

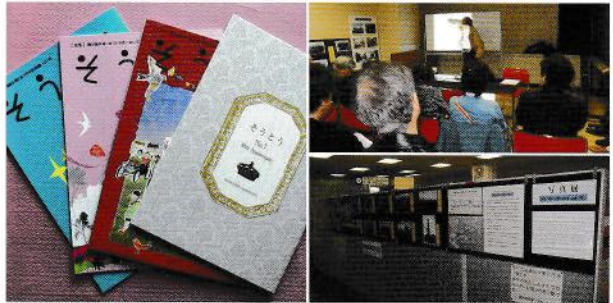


見学会風景



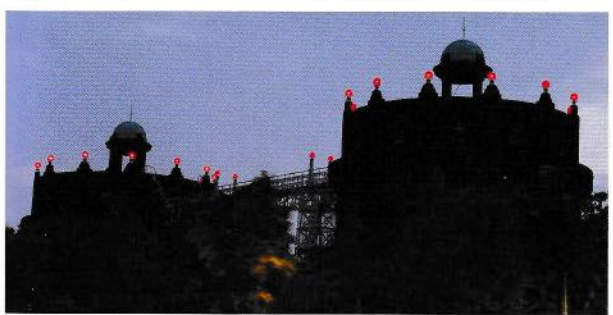
昭和初期のスケッチにも給水塔が

DVD 上映会風景



会誌「そうとう」

上) 講演会風景 下) 写真展風景



2003年から70年ぶりに点灯

駒沢給水塔ミニ知識

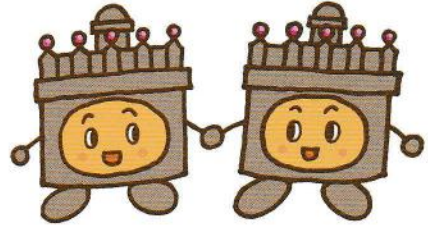
塔の上にある装飾球は1基に12球、2基で24球、塔と塔を繋ぐ橋に4球。計28球

駒沢給水塔ミニ知識

塔上の装飾球は4月のさくら祭り、6月の水道週間と10月1日の都民の日に点灯される。

会の活動

- 5月に定期総会を開き、前年度活動報告及び決算、次年度活動計画、予算を決定
- 毎月幹事会を開き、協議を経て会の運営方針を決定
- 会報「双塔」を年4回発行、送付
- 会誌「そうとう」(24頁)を年1回発行、送付
- 年1回、10月1日都民の日に給水塔見学会を実施
募集人数 / 200名 (1回100名)
12:40 / 14:40の2回実施
- 地域小学生の構内見学会、写生会を実施
- 給水塔を中心に写真展を実施
- 講演会、懇談会の開催
- 地域の祭りやフリーマーケットに参加
- DVDを制作し、近隣の町会を始め各所で上映活動
- 周辺の各町会と必要に応じ協議し活動
- 給水塔に関する銘板、由来板、案内板などを作成し各所に設置
- 世田谷区と常時情報連絡をとり、広報活動の幅をひろげる
- 都水道局と出来るだけ話し合いの機会をもち、近代化遺産の修復、整備の促進
- ホームページで随時情報を提供

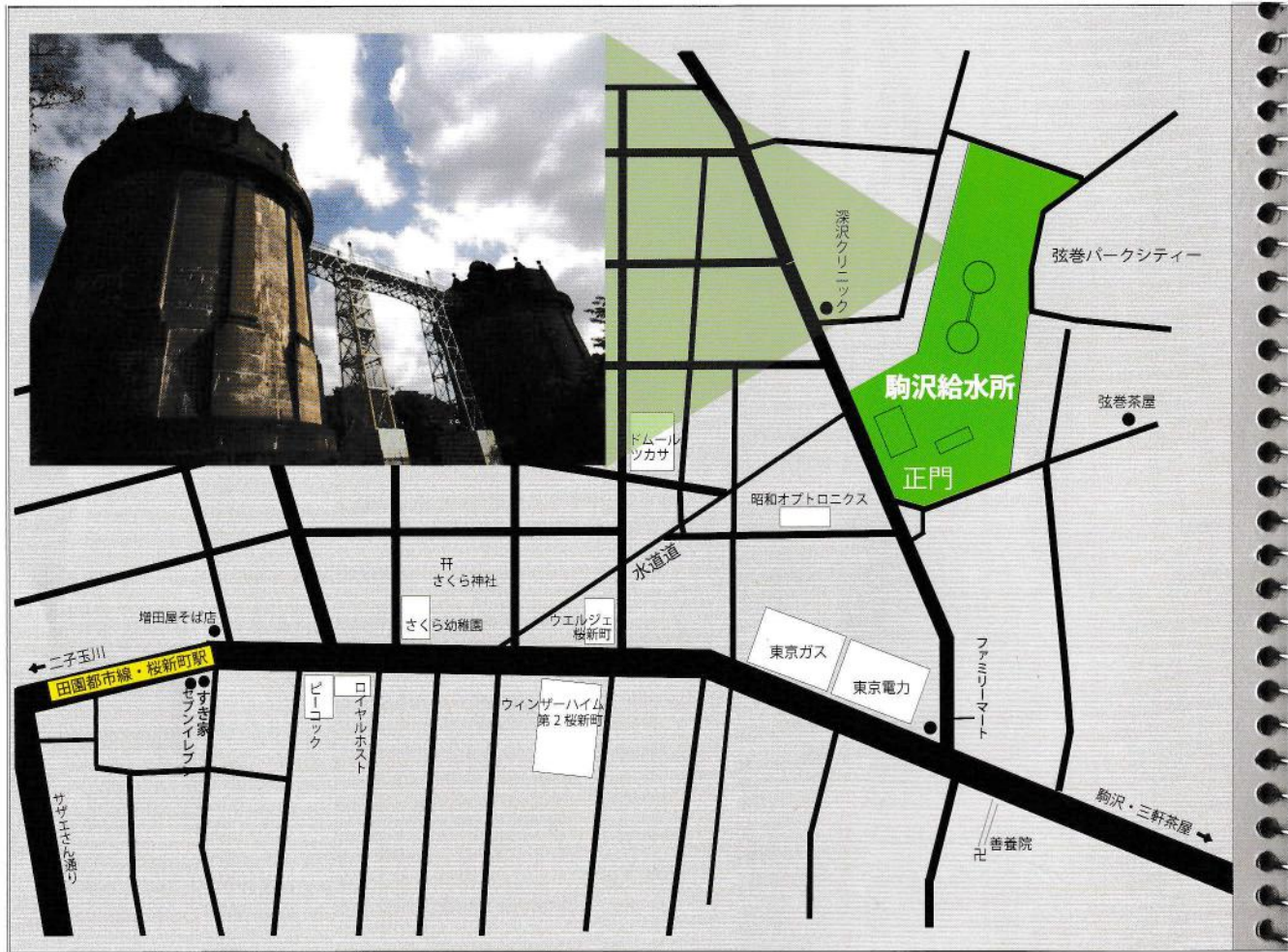


駒沢給水塔ミニ知識

多摩川からポンプで給水塔へ取水した水は渋谷まで高低差を利用して自然流下で運ばれた。

駒沢給水塔ミニ知識

給水塔は双子ではなく三つ子になるはずだったが、3基目は作られなかった。残念!



駒沢給水塔風景資産保存会 (コマQ) 会員を募集しています

●会員の特典

- 10月1日の見学会に優先参加（無料）
- 年1回会誌「そうとう」をお届け
- 年4回会報「双塔」をお届け
- その他各種イベント、見学会への参加他

●年会費： 1,200円

（初回のみ別途入会金 800円）

●ご入会の連絡先

新庄靖弘 03-3426-7962

黒田 端 03-3428-9816

又は

<http://setagaya.kir.jp/koma-q/>

このパンフレットは平成27年度世田谷区「地域の絆ネットワーク支援事業」により作成しました